

会報

日本勤労者山岳連盟（富山県連盟）

新日本スポーツ連盟

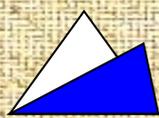
No. 280

2024年1月1日

代表 岩井 富雄

射水市宝町 1364-35

TEL・FAX 57-8180



# 三島野スポーツクラブ



戸隠連山 小木 清 画

金華山（岐阜城）

山行報告

1月20日（土）  
カンジキ登山 牛岳

2月18日（日）  
雪上訓練 八乙女山

2月25日（日）  
来拝山

1月・2月企画案内

第26回定期総会案内  
2月3日（土） 10時より  
はなみずき

# 第26回定期総会の開催案内

とき 2月3日(土)10時より

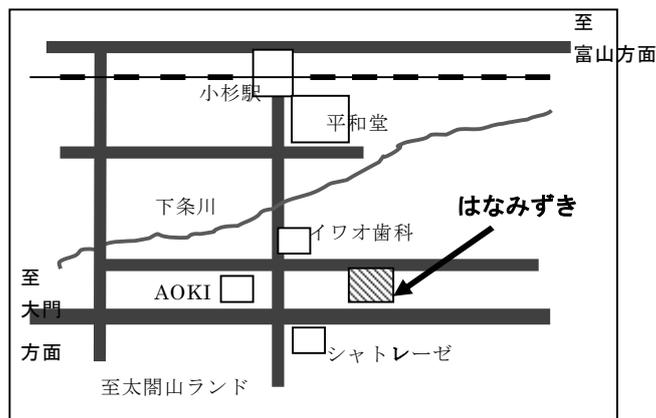
ところ はなみずき (小杉駅南 地図参照)

※ 総会終了後、12時30分よりランチをともにしながら懇親会を予定しています。  
併せてご参加くださるようお願いいたします。

三島野スポーツクラブにとって、昨年2023年は創立以来25周年の節目の年でした。新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着きを見せ、活動も“自粛”の呪縛から解かれたように、山小屋宿泊企画も再開しました。

クラブの創立以来の面々の高齢化や、新しい会員の拡大という課題をみんなの力で乗り越える起点となる総会にしましょう。

すべての会員が万障繰り合わせて、ご出席くださるようお願いいたします。



- ※ 当日、受付で会費納入の受付をおこないます。遭対基金1口を含めて10,000円/年です。
- ※ ランチ懇親会は会費2,000円で弁当、お茶、などを準備します。尚、酒類などの嗜好品は各自で準備をお願いします。
- ※ 山岳写真や懐かしのスナップ写真などお持ちいただければ幸いです。
- ※ 総会資料は1月下旬にお届けします。



過去の  
総会風景



出欠確認のハガキは1月17日まで届くように15日(月)までに投函してください。  
(会報送付の封筒にハガキを同封)



クマの爪あと 高落場山にて



クルマユリ



キヌガサソウ

# 1月・2月 企画案内

## 1/20(土) カンジキ登山

# 牛岳

富山市 (旧山田村)  
987m

牛岳温泉スキー場から山頂を目指すルートです。

登りをスキー場リフト利用 (ゆっくりの時間設定)

登り 標高差 530m 2時間 30分

下り 標高差 850m 2時間 30分

体力度・技術度とも★★☆☆☆ 〈L〉塚 良昭

参加申込は1月10日まで

SMS 080-8033-7427 塚 良昭へ



三島野 14年

SC

牛岳登山



## 2/18(日) 雪上訓練&登山

# 八乙女山

南砺市 (旧井波町)  
752m

閑乗寺旧スキー場がスタート・ゴール。急斜面でピッケル・アイゼン・カンジキを装着して訓練しながら、山頂をめざします。

【集合時間】7時50分 【出発時間】8時00分

【行程】 標高差 530m

登り 2時間 30分 下り 1時間 30分

訓練時間 1時間 30分 行動時間 5時間 30分

【装備】アイゼン、カンジキ、ピッケル、ストック、  
防寒対策、温飲料、通常の装備

【参加申込】2月8日までの場邦夫へ

SMS 090-4320-5325 的場へ



## 2/25(日) 来拝山

立山町  
899m

【行程】立山青少年の家 → 南尾根コース → 山頂  
→ 西尾根コース → 立山青少年の家

標高差 約500m 登り 2時間 30分 下り 2時間

体力度★☆☆☆☆ 技術度★★☆☆☆

【装備】雪山登山装備 カンジキ、ストック、防寒装備、  
温飲料

詳細は次号会報に記載します。



## 山行報告

12/10(日)

# 金華山(岐阜城) (329m)

メンバー：〈L〉塚 良昭、 〈SL〉的場邦夫、 〈写真〉岩井富雄、 草 進、 荒井英治、 林 憲彦、  
山本則夫、高井増美、 石黒洋子、 仲西雅子、 浦 幸江、 有澤真知子、 今村和子、  
加藤日出子、宮本久子

### 【行程記録】

薬勝寺池 P 発	6 : 3 0
岐阜公園 P 発	1 0 : 0 0
金華山山頂着	1 1 : 3 0
昼食、岐阜城見学、資料館見学	
出発	1 2 : 3 0
岐阜公園 P 着	1 4 : 0 0
薬勝寺池 P 着	1 7 : 3 0

### ひとくち感想



**高 井：** 今日が私にとって2023年の

山行最終章でした。自然に触れて、心を整えて、脳をリセットする時間をもつこと。いつもと違う「脳」を使って自分らしく生きる！織田信長の言葉に感銘を受けました。

辰年は、飛躍しよう！2024年も皆様にとって素晴らしい年でありますようにお祈り申し上げます。

**石 黒：** 金華山は不思議な山でした。標高329mで二上山とは50m程しか変わらないのにすごく高く感じます。山自体もごつごつした岩でできていて頑丈です。荒井さんにチャートでできていると教えてもらいました。2億年前南半球の海底で堆積し、それが移動し、隆起や侵食でできたとか…。岐阜城からの眺めが素晴らしく、信長がこの場所から城下を眺めていたのだなと思うと時の流れが不思議に感じます。15人で遠足のような楽しい山行でした。リーダーさん、運転してくださった方、皆さん、ありがとうございました。

**林：** 紺碧の空にそびえる天守閣は見ごたえがありました。登山者がケガでヘリコプター搬送されるのを見て、ああいうことにならないようにと気を付けて歩きました。その為スピードが落ち皆さんに迷惑を掛けました。

**的 場：** 車4台で15名の参加で岐阜城登城しました。ロープウェイ利用で登城したことが有りますが歩いて下からは初めてでした。河原の広い駐車場はほぼ満車状態でしたが何とかスペースを見つけ駐車。見上げれば山の上に城が見えた。テンションがあがる。天候は申し分なく快晴で風もなく最高です。気持ちよく山行出来ました。皆さん有難う。

**岩 井：** 雨が長い間降らないのか、登山道は乾ききっていました。北アルプスの山と違い落ち葉が少ないと思いました。

**仲 西：** 12月には珍しいくらいの快晴となり絶好の山歩きの日になりました。岐阜公園から見上げた岐阜城は山の自然に囲まれそびえ立っていました。天守閣からは岐阜市内が見渡せ、かつて信長も天下を見晴らしたように壮大な眺望がみられました。ゴツゴツとした岩肌が山道にありましたが怪我もなく下山でき久しぶりの山歩きを楽しむことができました。

**加藤：** 岐阜城に着く手前辺りで登山者が怪我をし、ヘリで救助されるのを間近で見て、気持ちが引き締まる！天守閣から見る金華山や長良川、ダイナミックな岐阜の街並み眺望に感銘した。久々の山行きは冬日和のいいお天気に恵まれ最高でした。やっぱり山は良いなー(\*^^)v

**宮本：** 年中、緑がこんもり茂ると言う金華山。最高の天気でした。瞑想の小道コースを登り岐阜城へ。百曲がりを下り楽しいコースでした。ごつごつした岩、木の根、岩の階段もあり瞑想の余裕がありませんでした。救急搬送のヘリコプターを目にして低山でも侮るな。三島野クラブ全員無事下山。皆さん有難う御座いました。

**今村：** 金華山の山頂に建つ岐阜城の天守閣からは、岐阜市街地や長良川、周りの山々がスッキリ見渡せました。15人のメンバーで、ワイワイガヤガヤと一緒に行動するのが楽しかったです。リーダーさん、運転して下さったみなさん、ありがとうございました。

**草：** トンネルを抜けると、雲一つない青空。そびえ立つ岐阜城目指してこころ軽やかです。足場がわりと安定せず難儀しての登りです。瞑想の小道で不幸に出くわし、山頂岐阜城ではヘリに見入り改めて安全第一と肝に銘じて、町の道路に下山しての山歩きでした。

**山本：** 12月の気温とは思えない21°Cとの天気予想、頂上も328.8mで夏用の登山服にしました。おかげで熱くも寒くもなく丁度でした。登りは穏やかな上り坂の（瞑想の小道）で、美しくゆったりと流れる長良川その周囲の岐阜市内を眺めながら岐阜城・金華山に到着。岐阜城の天守閣からは、天気も良く岐阜市内を360度眺めることができました。下りは（百曲がり登山道）を下り、帰途につきました。

**塚：** 車窓から眺めると、こんもりと三角形に尖った山頂に、天守閣が聳える格好の良い山でした。ロープウェイも有り沢山の観光客が登る人気の山です。登山道は岩場の急登もあり、変化に富んでいて楽しい山行でした。



**浦：** 最高の天気。今年最後の山行きに、ご褒美のようだった。柱状の岩の大地を歩き、岐阜城を目指す。たくさんの方が訪れる山で、登山道も整備されていた。久しぶりの山で、体調が心配だったが、なんとかついて行けてホッとした。ヘリコプター搬送に遭遇した。1人のケガ人の為にたくさんの人（20人以上）が救助活動されるのを見て、体調管理することの大切さを感じた日になった。

**有澤：** 二年前に訪れた時はケーブルでしたが登山道があると知りぜひ登ってみたいと思っていました。地元で親しまれているようなので楽に登れるかと思っていましたが、岩の道が多くそれなりに大変でした。天気が良く頂上からの眺め、岐阜城どちらも最高でした。充実した初冬の日になりました。ありがとうございました。

**荒井：** 金華山・岐阜城。いつかは行きたいと思っていた。20年ほど前に神通川沿いにドライブ旅行した時に犬山城まで足を伸ばした。その時の西の方角に見えた山城。「あんな高い山頂に誰が、いつ、どんな目的で造ったのか。」濃尾平野のどこからでも見えそうな、その姿が印象的で、登ってみたいと思ったがその時は時間の都合で登らなかった。斎藤道三や織田信長や稲葉山城のことは知っていたが、それがあの山城だとは思わなかった。その念願の山城に登れてとても満足しています。思っていた通り、金華山の全体がチャートというとても硬くてカラフルで綺麗な岩石で出来ているのが確認できたのも良かった。もう一度、時間をたっぷりかけて、じっくりと登ってみたい。



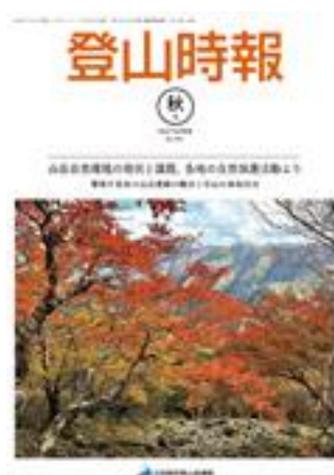
紅葉の名残り

# 今年から「JWAF journal」

## をお届けしています

日本勤労者山岳連盟の英語名は Japan Workers' Alpine Federation として  
しています。頭文字を並べ **JWAF** としています。それが冊子名の頭に付けられて  
しています。

今年1月から毎月発行され、三島野スポーツクラブ会報と一緒にお届けして  
います。労山本部の催しや各地の登山山岳会やクラブの活動を紹介しています。  
また、労山本部に届けられた1ヶ月の「事故一報」と「労山基金 交付認定の  
一覧」が毎号に記載され、どんな事故がどこで発生し、ケガや傷病にどれだけ  
の補償金が交付されたかを知ることができる貴重な資料だといえます。ぜひ、目を通してみてください。



## 労山機関誌

### 「登山時報」は季報(春夏秋冬)となりました

「登山時報」は毎月発行から年4回発行(季報)となりました。三島野スポー  
ツクラブ会員にも10人近い読者がありましたがリセットされました。  
毎号40ページほどの小冊子ですが、読み応えのある内容になっています。  
年間購読料は1,200円です。購読希望者は直接労山本部に申し込んでください。  
尚、インターネットで閲覧することができます。「労山登山時報」を入力検索  
すると「出版物」のページが開示され、登山時報の項の「こちら」をクリックすると既刊の号の表紙が表示し  
ます。その表紙をクリックすると全ページが開示します。

### 世話人会より

労山富山県連の交流登山企画が実施されます。

## 3月17日(日) 能登猿山岬

バスの手配の都合があり、事前に大まかな参加人数を  
把握したいと思います。

参加希望者は1月15日までに  
荒井英治 SMS [080-8695-6639]

に申し込んでください。

時期的に早いので(仮申し込み)とします。

尚、参加費は1,000円です。



雪割草

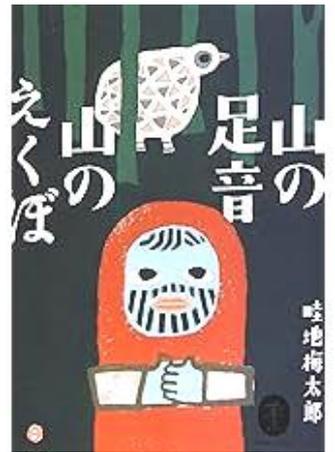


猿山岬灯台



pixta.jp - 40382751

## 書籍紹介



# 山の足音 山のえくぼ

畦地梅太郎 著 山と溪谷社刊

ヤマケイ文庫 900円＋税

二〇二二年初版第一刷発行

山岳雑誌などに発表した紀行をまとめた畦地文集2作目となる1960年紀行『山の足音』と山里風景と山里の暮らしを描き出す1975年刊行画文集『山のえくぼ』がヤマケイ文庫で復刊！

愛媛の自然に育ち、大正から昭和初期の激動の時代に青春期を過ごした畦地は、上京後、各地の山を訪ね歩き、時代とともに作品の主題を変えながら、畦地芸術を深化させていった。畦地が本書で描くのは、敬愛する山々の自然美と山の生きものたちの姿であり、家族への愛と、愛媛の自然への憧憬である。

(絵表紙より)

## 〔三島野スポーツクラブ世話人会〕

任務分担	氏名	住所	TEL	携帯
代表	岩井 富雄	射水市宝町 1364-35	57-8180	090-5177-9255
副代表	的場 邦夫	氷見市十二町 1037-36	74-6434	090-4320-5325
副代表	堀井 泰則	高岡市石瀬 748-6	25-2792	090-1314-6394
会計担当	塚 良昭	射水市寺塚原 226	84-1162	080-8033-7427

世話人会は、荒井英治、川渕順正、棚田清志、新田俊明、山本則夫、加藤日出子、守田清子と上記の4名で構成します。

〔監事〕草 進、浦 幸江 〔相談役〕山田 格、林 憲彦

1月の世話人会開催は **1月9日(火)** と **23日(火)** の午後2時から、  
会場は「はなみずき」です。どなたでも自由に参加できます。  
尚、2月会報作成発送を1月29日(月)午後1時～おこないます。

会報編集担当です。会報に記載する原稿のは下記のアドレスに送ってください。

堀井泰則 [horii.yasunori@rouge.plala.or.jp](mailto:horii.yasunori@rouge.plala.or.jp) 甲かほる [kab@p2.tcnet.ne.jp](mailto:kab@p2.tcnet.ne.jp)

松田理恵子 [krbara@p2.tcnet.ne.jp](mailto:krbara@p2.tcnet.ne.jp)

## 編集後記

- ・金華山(岐阜城)企画の参加が15名という大人数となったことにちょっとびっくり。今年が一番人気企画となりました。“小旅行気分で名所の山城登山”がうけたのかな・・・。「先月の富士を愛でる・・・」企画もしかり、この季節の太平洋側は晴天率が高いから良いですね。
- ・総会を成功させましょう！成功のカギは一人でも多くの会員が顔を見せてくれることです。企画の参加からしばらく離れている方が、この日は顔を見せてくれることがクラブ員の何よりの喜びです。
- ・暖冬予報の今冬です。が、この地に生きる私たちは雪と関わって生きています。楽しみましょう雪山を！
- ・労山の機関紙・誌が今年1月から変わったことを、12月になってお知らせすることになってしまいました。是非、目を通して興味ある記事だけでもお読みください。登山時報はネットで読めます。